

2023 年度ゼミ（演習 1）要覧

担当者名	孫 占坤
演習テーマ	領土（+国境）・資源紛争の国際関係学
演習の内容	<p>本ゼミは領土（国境）・資源の争いを素材に、国際関係を広く学び、国際社会の平和を考えていくことを目的とする。</p> <p>現在進行中のロシア・ウクライナ戦争、戦後 70 年も続くパレスチナ/アラブとイスラエルの対立等、国際社会における紛争の多くに領土（国境）、資源をめぐる対立が含まれている。領土は国家を構成する基本的要素の一つとして、どの国にとっても極めて重要視されているが、今日、ナショナリズムの高揚や科学技術の発達に伴い、石油、天然ガス、水等資源の重要性に対する認識も高まり、領土、国境の争いが一層複雑な様相を呈するようになってきている。</p> <p>「北方領土」、「竹島」、「尖閣」がすっかりポピュラーな語彙になったことが象徴するように、領土（国境）、資源をめぐる争いは日本にとっても単なる「他人事」、「対岸の火事」ではない。今日、米中覇権争いという大嵐に乗じて（?）、日本では領土・資源をめぐる「語り」が日本社会のナショナリズムを高揚させる大きな推進力と「化けつつある」とも指摘される。</p> <p>以上のような問題意識をベースに、本ゼミは日本を含めた世界の領土(国境)・資源問題を切口として、国際関係のルール、国際紛争の平和的解決の仕組を学ぶ予定である。</p> <p>なお、本ゼミは教室内での書物・映像に基づいた「スタンダード」な勉強に留まらず、校外実習で紛争・対立の「現場」へ足を運び、現地の学生・研究者・住民との交流を通じた「体感学習」も重視する。ゼミの履修者には原則として校外実習への参加も求められる。</p>
テキスト・参考書	<p>①佐藤成基『ナショナル・アイデンティティと領土～戦後ドイツの東方国境をめぐる論争』新曜社。</p> <p>②岩下明裕『北方領土問題～4でも0でも、2でもなく』中公新書。</p> <p>③和田春樹『領土問題をどう解決するか～対立から対話へ』平凡社。</p> <p>④黒川 祐次『物語 ウクライナの歴史—ヨーロッパ最後の大国』中公新書。</p>
成績評価の基準	授業の参加（60%）と期末課題の提出（40%）
校外実習	実施する
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	<p>実習地として未定だが、第一候補は中東（イスラエル・パレスチナ）、欧州（ポーランド、旧ユーゴスラヴィア等）、日本（北海道、奄美・沖縄）もあり得る。3 年次ゼミの夏休み期間（2024 年 8 月下旬～9 月上旬）に行う予定。海外の場合 30 万円 + α、日本国内の場合 15 万円程度。</p>
選考方法	<p>集団面接（孫ゼミの「バイブル文献」を読んでもらって、ディスカッションを行う。ディスカッションで積極的に発言できる人を優先的に採用する）。</p>

小論文（テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	現在、関心の持つ国際紛争（領土・国境・資源紛争に限定する必要なし）を一つ選び、タイトルを含め、自由に書いてください。800字程度。「募集申込」（5月25（木）～26日（金））手続終了後に、速やかに小論文を教員メールアドレス宛てにワードの添付ファイルで送ってください。
メールアドレス	sun@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・オフィスアワー	5月12日（金）、23日（火）、いずれも昼休み（12:30～3:20）、8号館2F「会議室」。
履修済・履修中であることが望ましい授業	特に求めません。
2024年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	なし
備考	